

2014.06.15発行

2014
6月
第49号

かい 海 公民館報 よう 陽



第9回

文化協会祭

ゴールデンウィーク期間中は、行楽日和に恵まれて、皆さん外出されたり、家でゆっくりと過ごされたりと、それぞれに楽しまれたことと思います。

海南文化村でも、連休の期間中に第9回海陽町文化協会祭(5月2日~12日)が開催され、映画上映会(5日)、芸能大会(11日)などの行事に、たくさんの方がご参加くださいました。また、こどもの日(5日)に合わせて、緑日コーナーやキッズスポーツコーナーなどの行事などもあり多数のご家族が楽しく過ごされました。

展示の部



写真



油絵



俳句



書道



絵手紙



川柳



水墨画





絵画

押し花



盆石

富士山



舞踊



社交ダンス



芸能の部

安芸会長のあいさつ



フラダンス



舞踊



民踊



目踊



詩吟



三味線



舞踊



箏



太鼓

新任の「あごわい」

「人権力」ですみよい町に！！

社会教育指導員 佐藤和久

本年度4月から、海陽町教育委員会社会教育指導員としてお世話になることになりました。人権教育と放課後子ども教室に関することが主な担当です。

これまで、小学校の教員として、また社会体育(剣道教室)の指導者として、30年あまりつとめさせていただきました。多くの方々にも多大なる支援をいただいたことに心よりお礼申し上げます。

学校在職中は、同和教育や特別支援教育と正面から向き合う機会にも恵まれ、出会った方々から、「人間にとって大切なものは何か」「本物とは何か」など、たくさん貴重なことを学ばせていただきました。今、その経験が自分の生き方の支えとなっています。

学校退職後は、パーマカルチャー(持続可能な社会を目指す活動)の研修をしたり、農業や土木関係の仕事を経験したりしました。幅広い年代の方々やいろいろな職業の方々や接する中で、今の社会の厳しさや歪みなどを肌で感じる事ができました。

現在、日本は、農業・環境・

経済・人権・教育・福祉・医療・雇用問題など、どの分野においても課題が山積みです。これは本町においても大なり小なり同じであると思います。「すみよい世の中になつた」と多くの人が感じているのではないのでしょうか。

「すみよい町になつてほしい」というのはみんなの願いだと思います。すみよい町にするためにはいろいろな取り組みが考えられるでしょう。ただ、どのような方法であれ、基本的な人権の精神の上に立ったものでなければその願いが実現しないのは明らかです。

次回より、「人権力ですみよい町に！」というテーマで、身近な問題から社会問題まで、基本的な人権の視点に立つてアプローチしていきたいと思えます。つたない問題提起になるかも知れませんが、一つの意見を提起すれば、それに対して異なる意見が出るのが自然な場だと思えます。多様な意見をいただければ切磋琢磨することができればと考えています。どうかよろしくお願いたします。

海陽幼稚園・海南保育所土砂災害避難訓練

平成26年6月3日(火)、海陽幼稚園・海南保育所が一緒に土砂災害避難訓練を行った。



みんなで逃げよう!!



さあ、頑張っていこう!!



みんなでここに集まれ!!

<生涯学習の趣旨>

生涯学習は、健康で豊かな生活を営み、仕事に役立つ知識や技術を身につけて、いきがいのある充実した人生を過ごせるように生涯を通じて行う学習活動のことです。

お茶碗(茶道用)を作ろう!



手びねりは自然な風合いです。



◆ろくろ台を使って整形しながら作る方法と手びねり(手のひらを使って作る)での2とおりで製作しました。

春の体験講座
昨年引き続き親子で春の体験講座が実施されました。

生涯学習講座



ヤスリで磨くとツルツルに仕上がります。



みなさんすごく真剣です!



◆地元の竹をお湯につけて曲げて乾燥させたものを使って茶杓を作りました。柄杓はヤスリを使って丁寧に磨いて整形し仕上げました。

茶杓 柄杓を作ろう!



◆少し厚めの綿生地を使って思い思いの柄を想像しながら割りばしやビー玉などをゴムで縛って藍につけこみました。

どのような柄になっているかは、輪ゴムを取ってみないとわからないので、外す時は緊張の瞬間です。

藍染めふくさを作ろう!



濃淡がよく出ていていい染まり具合です。

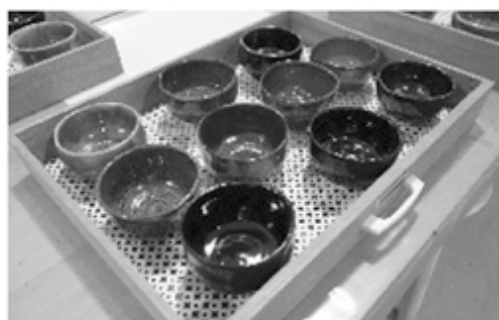
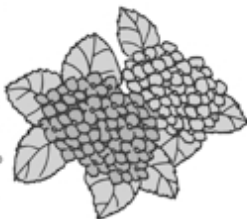


ぷちお茶会

◆完成したお茶碗を取りに来館された参加者の皆さんとぷちお茶会をしました。作品を製作している時の話などをまじえ、それぞれ満足のいく出来映えにご満悦の様子でした。



※親子で2人1組での参加が原則ですがお孫さんとおじいちゃん・友人同士・2人一組であれば、いろいろなパターンで参加できるよう対応いたしますので、お気軽に相談下さい。次回の夏の体験講座も現在企画中です。お楽しみに！



40周年記念

ひまわり

～沖縄は忘れないあの日の空を～

そのシネマ機は炎上しながら学校に落ちた。実際の事件を元に今の日本に問う感動の映画化。

長塚京三 須賀健太 能年玲奈 福田沙紀

www.ggvp.net/himawari

基地と人間の壮大な物語、感動の映画化。

【上映時間】 吉本小百合さん(友情出演)の主演が感動の映画化です。感動の瞬間をぜひ見逃さず。ひまわりは、感動の瞬間をぜひ見逃さず。

入場無料

どなたでもご自由にご参加ください。

日時 / **7月21日**(月・祝)

①10:30～ ②14:00～

場所 / **海南文化館ホール**

主催・海陽町人権教育協議会
後援・海陽町教育委員会
お問い合わせ
TEL 0884-73-3100 (教育委員会)

海陽町体協杯前期バレーボール大会

4月6日(日)

於：海陽中学校体育館

優勝

海南ひまわり

準優勝

牟岐体協



優勝した海南ひまわりの選手の皆さん

A コ ー ト			
1	海南ひまわり	2 VS 1	海部クラブ
2	海南ひまわり	2 VS 1	WAK2那賀
3	WAK2那賀	2 VS 0	海部クラブ

B コ ー ト			
1	牟岐体協	2 VS 1	K・club
2	穴喰クラブ	2 VS 0	日和佐体協
3	K・club	2 VS 0	穴喰クラブ
4	牟岐体協	2 VS 0	日和佐体協

決勝戦	海南ひまわり	2 VS 0	牟岐体協
-----	--------	--------	------

三位決定	WAK2那賀	2 VS 0	K・club
------	--------	--------	--------

第1回 海陽町小学生バドミントン交流大会

2月15日(土)

於：日和佐総合体育館

優勝 曾我井優斗
(北島Bambi)

準優勝 高島 真実
(穴喰Jr.)

三位 井上 明香
(相生BC)



管内文化財 指定地の視察

平成26年3月28日(金)に、管

内文化財指定地の視察を行いました。今回視察した地域は穴喰で、海陽町文化財保護審議会委員の視察に、海陽町立博物館ボランティアの方々も見学に行き総勢24名が現地を訪れました。

阿波海南文化村から出発したバスは、經由地の穴喰町民センターで満席になり、次の10件の指定文化財(所在地)を視察しました。板碑「町・有形民俗文化財」(角坂)、板碑「町・有形民俗文化財」(塩深)、ハッチョウトンボ「町・天然記念物」(八山)、穴喰古墳「町・史跡」(久保)、夫婦楠「町・天然記念物」(八坂神社境内)、鈴ヶ峰円通寺梵鐘「町・有形民俗文化財」(願行寺境内)、一石五輪塔「町・有形民俗

文化財」(同上)、石仏・

山越阿弥陀来迎図「町・有形民俗文化財」(同上)、穴喰浦の化石漣痕「国・天然記念物」(古目)、鰐口「町・有形民俗文化財」(穴喰町民センター)、以上10件。

(註)鰐口は、神社仏閣の軒先に懸けられ、綱で打ち鳴らし、警願成就を祈念する。中は、空洞で下部に鰐の口のような開口部がある。(「トビック」参照)

当日は天候にも恵まれ、桜の花が見事に咲き揃う中、山間部から海岸部に至るまで半日ばかりで移動しました。各視察場所で文化財保護審議会委員や学芸員の説明があり、見学されたボランティアの皆様にとつては良い研修になったのではないでしょう。

「海部自然・文化セミナー」の開催

平成26年5月18日(日)に本年度の第1回「四国遍路と修験道」が開催され、34名が受講しました。今年で2年目となるこのセミナーは、徳島県立博物館と海陽町立博物館とが主催となる参加費無料の講座で、申込みの必要はなく、どなたでもお気軽にご参加いただけます。

徳島県立博物館学芸員の長谷川賢二さんが第1回を担当し、四国霊場開創1200年記念の年にふさわしいテーマが設定されました。現在の四国遍路の体系が成立する過程には、歴史的な変遷があり、古く源流を訪ねれば、「四国の辺地」(海辺の廻り)における修験道信仰が弘法大師伝説の根底にあったのではなかろうかという内容のお話は、「四国霊場八十八箇所とへんろ路」の世界遺産登録に向けての取り組みが行われている現在、新鮮な一つの視点を与えていただけたのではないのでしょうか。

第2回目、6月22日(日)「鳴門海峡海底のナウマンゾウ化石」(徳島県立博物館、中尾賢一学芸員)、第3回目、7月27日(日)「県南の古代文化と長国」(町立博物館、郡司早直学芸員)、第4回目、8月31日(日)「銅鐸のはなし」(徳島県立博物館、高島芳弘館長)。

会場は、海南文化館大会議室です。

時間は、午後1時30分から3時までとなっております。海南文化館へぜひご来場ください。

穴喰俳句

五月句会より

折畳み自転車でゆく若葉風	若葉風テネシーワルツ聴きながら	サーファーの視線の先や春の波	書き記すゲーテの言葉夏隣	春の雨ゆつたりと見る書道展	田の水のふくらむ八十八夜かな	まっすぐに前みて歩く卒業式	ひとところ山にむらさき藤の花	うす青く和らぐ空に春の雲	雨の降る田んぼに映る朧月	春の山選挙カーの声こだまする	落のとう雑草の中にうずもれて	たんぽぽの綿毛ふわふわどこまでも	更衣覚えのありし染み一つ	燕来て空は燕のものとなる	春昼やしずかな街をロバのパン	登校の声弾みおり聖五月	干綱を繕つてをり夏つばめ	老人ホームからの歌声桐の花
鍛治田 晟	井花 一山	元木 栄子	間戸谷 恵子	川野 佳代	元木 朱子	新井 駿也	長岡 達江	外山 千佳	山本 球子	梅田 千恵子	中島 時	阿津 敏美	中岡 啓泰	新井 久実	樽井 みつ子	陸田 ヨネ子	寺崎 照代	木下 野生

海南俳句

五月句会より

新緑の水面に映ゆる金閣寺	畑中の畳二帖の麦の秋	父の日の懐かしきかな藁草履	田植時母の手捌き思い出す	あぜ刈つてより良く見ゆる稲の出来	老ひとり鯛一匹の祝いかな	道問へば草刈機置き誘導され	各駅に停車新樹をみぎひだり	娘の肌の青き程なる柿若葉	かしわもち祝うて食べる孫ひ孫	初孫か村にのぼりの一所ふえ	青嵐ショートヘアのひとり旅	夏場所や平成生まれの役力士	方言で話してをりぬ葱坊主
廣瀬 克子	橋本 幸子	田中 たち子	新居 利之	鍛治崎 郁夫	岳山 祐弘	叶岡 陽二	谷口 洋根子	山本 達平	平道 はつ子	森口 豊子	津川 須美江	富田 聞二	武知 陸子

海部短歌会

わが子等の心に添いて金婚の祝ひの席に座りいるなり
 ゴーヤ時き待ちきれずして掘りみればポツンと白き芽の気配あり
 雨上りコバルトグリーン^{コバルトグリーン}の海部川新緑の色集めて流る
 へ数え九十詩吟の恩師ご壮健教え子われらあやかり励まんへ哲泉流吟詠号漲泉
 万緑の海部河口に空澄みて渡る橋より海高く見ゆ
 背を伸ばせとみずからに言い鏡見て丸くなりゆく背を反り返す
 万座毛^{まんざま}の岸打つ波は荒けれど孫と写りし笑顔のスナップ
 悩み多き我を励ます若き朋^{とも}を事故にてなくす止まぬ悲しみ

風呂谷 幸子
 溝内 和恵
 小笹 仁子
 池田 孝司
 北村 千代子
 西田 美代
 榎岡 節子
 田村 航也

海部ひまわり俳句

菜の花や重なりて増す色の濃さ
 春の水一直線に下の田へ
 永遠に在れ平和憲法記念の日
 緋牡丹や世にへつらわぬあてやかさ
 蛙どの今よしも王座の大合唱
 濃淡の新樹輝く山仰ぐ
 青空を愛するごとし藤の花
 新緑や孫が笑えば小さな歯
 永き日ににわとりを追いかけている
 亡き父母の声も聴こえる春の夢

津田 一
 西本 公明
 榎原 礼子
 南 歌子
 松田 嘉子
 元木 美枝子
 佐藤 美代子
 穴戸 道子
 岡 育代
 川野 照美

網代川柳五月句会より

口喧嘩三倍返しの嫁の声
 楽しげに下校の児等の笑い声
 新入生新品づくし靴おどり
 親望むレール進まぬ新世代
 何となくすつきりしない多数決
 指くわえ手の届かないゼロの数
 パワー全開楽しい疲れだつてある
 商品券得したつもりで無駄使い
 今日も良し朝の体操出来ました
 まわれ右しては若さと手をつなぐ
 他人の子と比べてならぬ出来不出来
 けんか道続けて一人道をゆく

山本 三久
 池田 善笑
 福岡 純山
 井上 可楽
 風呂谷 いずみ
 黒岩 一平
 石垣 小道
 椎崎 日和
 北川 弥生
 高木 柳月
 中村 あかり
 太田 一洋



トピック

町指定有形文化財（工芸品）
鱧口



わにくち
この鱧口は、大里の浜崎に、明治の初めごろまであった八幡宮（八幡神社）の別当寺、神宮寺に残されていたものといわれている。青銅製で円形な扁平体をなしている。面の径24cm、口唇（こうし下方に長く割れた口）の長さ37cm。じょうじ貞治3年（1364）の紀年銘をもつ南北朝時代（北朝の年号）にさかのぼる古い鱧口で、きねんめい歴史的価値は高い。大里字浜崎の榊原家に伝わる。